

エンドポイントバックアップ： Carbonite™ Endpoint Backup

進化する働き方に対応したエンドポイント保護

Carbonite™ Endpoint Backupは、すべてのエンドポイントデバイスと、そのローカル上に保存されたデータのための包括的な自動バックアップソリューションです。特に地理的に離れた場所に保護が分散されている場合は、人為的エラー、マルウェア、および盗難からデータを保護することがより困難になります。Carbonite™ Endpoint Backupでは、環境の規模、分散度にかかわらず、組織全体に保護を展開する際の管理タスクが簡素化されます。

エンドポイントのデータ損失

偶発的か意図的にかかわらずデータ損失は発生する

世界中で人々の働き方が変化しており、組織では従業員の働く場所に関係なく、大企業と同等レベルのエンドポイントのバックアップおよび保護の導入が不可欠となっています。

65%がサイバー攻撃の顕著な増加を目にしており、それはリモートワークに起因すると考えている

Carbonite™ Endpoint Backupを使用すると、組織は従業員のデバイス上の貴重なデータを保護し、データ損失とデータ侵害を軽減し、失われたデータをすばやく復元できます。ランサムウェア、ヒューマンエラー、デバイスの紛失や盗難によるリスクを軽減するために、最高クラスのエンドポイント保護による、ハイレベルなサイバーレジリエンスを実現できます。

脆弱なデータを保護

サイバーレジリエンス戦略の一環としてのエンドポイントデータ保護

Carbonite™ Endpoint Backupにより、ランサムウェア、マルウェア、データ損失、データ侵害から保護を実現します。

- 柔軟な導入オプション - クラウド、パブリッククラウド、またはオンサイトにバックアップ
- グローバル重複排除 - 暗号化されたデータの強力なグローバル重複排除
- 一元管理されたバックアップ - 自動バックアップを組織全体で1つのダッシュボードで管理可能
- グローバル位置追跡 - 紛失または盗難されたエンドポイントデバイスを見つけて追跡
- 受賞歴のあるサポート

メリット

Carbonite™ Endpoint Backupを使用すると、従業員のデバイス上の貴重なデータを保護し、データ損失とデータ侵害を軽減し、失われたデータをすばやく復元できます。

- 企業データが従業員のデバイスに保持され、保護されずに放置されている中で、完全なデータ保護戦略を実現
- データ損失とデータ侵害を軽減
- ネットワークとエンドユーザーのパフォーマンスを最大化しつつデータを保護
- 稼働時間を確保し、複雑さとコストを削減
- ランサムウェア、デバイスの紛失や盗難、ヒューマンエラーによるリスクを軽減

導入と管理が容易

高度な管理

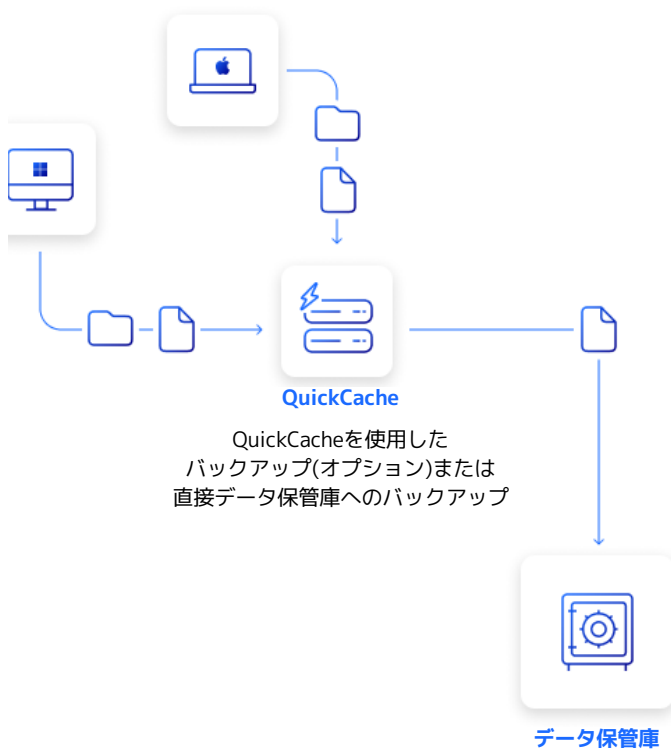
集中管理と制御機能によって導入を簡素化する一方で、ネットワーク上を移動するバックアップワークロードの影響を柔軟な構成オプションを通じて軽減します。

Carbonite™ Endpoint Backupを展開する方法

Carbonite™ Endpoint Backupは、サイレント展開テクノロジーにより、数十台、数百台、あるいは数千台に及ぶエンドポイントに容易にソフトウェアを展開できます。

- ステップ1: Microsoft AzureでホストされるCarboniteのデータ保管庫に集中管理型のデータ保管庫を作成します。
- ステップ2: パソコンやノートパソコンにソフトウェアをサイレント展開します。
- ステップ3: 分散しているデバイスをローカルキャッシュを使用して、または直接データ保管庫にバックアップします。
- ステップ4: デバイスの紛失または盗難時にデータを復旧またはリモートで消去します。

Carbonite™ Endpoint Backupの展開



高度なセキュリティ機能

Carbonite™ Endpoint Backupは、ノートパソコンを内部および外部の脅威から保護します。また、デバイス追跡、訴訟ホールド、SSO、2FAなどの高度な機能も含まれています。

Carbonite™ Endpoint Backupでは、SOC 2 Type 2標準に準拠して管理フレームワークを運用します。Carbonite™ Endpoint Backupは、HIPAA、FERPA、GLBA、GDPR、ISO27001など、複数の業界標準の規制に準拠しています。

高性能

Carbonite™ Endpoint Backupではグローバルな帯域幅の使用をインテリジェントに管理するために不可欠なツールを組織に提供し、ネットワークパフォーマンスへの影響を最小限に抑えます。

「リモートで働く従業員のエンドポイントデータのコピーを一元管理することで、エンドポイントの紛失や盗難の際にビジネスに影響を及ぼす恐れが削減されます」

Viskase、シニアネットワークエンジニア、Martin Polaszewski氏

Carbonite™ Endpoint Backupはサイバーレジリエンス戦略の一環です。サイバーレジリエントであるということは、サイバー攻撃や偶発的なデータ損失への耐性が高く迅速に復旧できるということです。OpenText Cybersecurityは、お客様が安心して業務ができるように、データを安全に保護するサイバーセキュリティソリューションを幅広く提供しています。

サポート対象プラットフォーム

エンドポイントクライアント:

- Windows 7以降
- Windows 11 (Armベースプロセッサ)
- macOS 10.12以降

エンドポイントデータ保管庫:

- Microsoft Azure
- Windows Server 2019、2016、2012 R2
- SQL Server 2019、2016、2014、2012プラットフォーム